

# 株式会社建設マネジメント四国 松山営業所

代表者 / 営業所長 兵頭 英人  
業 種 / 土木関係建設コンサルタント・補償関係コンサルタント  
所在地 / 愛媛県松山市土居田町 53 番地 1  
連絡先 / 089-994-5531

## SDGs 達成に向けた取組み

### 社会貢献活動①



#### 目的・背景

経営方針である「企業の社会的責任として法令等を遵守し、社会貢献・環境保全・女性の活躍推進等に取り組めます。」のもと、共助社会づくり、地域防災、土木技術者育成等への支援を通じ、社会貢献に取り組んでいます。

#### 具体的な取組内容

- ・「特定非営利活動法人パラワーク」に対し、令和 5 年 4 月の年度当初に資金的支援を実施。当該団体では、パラアスリートの活動などを広く一般に情報発信し、活動環境の充実や就労支援などパラアスリートの社会的自立を支援するため、個人・団体の会員を募集し、その会費や寄付金等により事業を実施。障がい者との共生社会実現に向けた取組みとして、支援しています。
- ・愛媛大学の学生などを中心とした学生防災士で構成する「防災リーダークラブ」に対し、年度当初の令和 5 年 4 月に資金的支援を実施。当該団体は、自主防災組織の防災訓練及び勉強会等に参加し、地区防災計画の作成に関与するとともに、小・中・高生を対象とした防災教室等を通じ、地域の防災意識の向上や防災活動の拡大に積極的に取り組んでいることから、支援しています。
- ・西条農業高等学校「Team SSS (チームトリプルエス)」に対し、令和 5 年 4 月に資金的支援を実施。当該団体は、農業クラブ全国大会の平板測量競技会で優秀賞を受賞するなど土木技術の研鑽に努めるとともに、西条市の地域活性化を目的とした「うちぬき」を巡るツアーを企画し、国土交通省主催の水の里の旅コンテストで優秀賞を受賞するなど土木技術の向上及び地域づくりに積極的に取り組んでいることから、支援しています。

#### 成果

パラワーク HP 及びパラアスリートの競技大会ポスターに、弊社の社名及びロゴが掲載され、パラワークの事業に協賛し、3「すべての人に健康と福祉を」の活動に貢献していることを PR できました。防災リーダークラブでは支援金によりベストを制作し、学生が着用することにより一体感のある防災活動に貢献し、学生の活動意欲の増大につながりました。Team SSS では、全国での競技会等の遠征費に支援金を充て、活動範囲の拡大や生徒の活動意欲向上につながりました。



桑原小学校防災教室

## SDGs 達成に向けた取組み

### 社会貢献活動②



#### 目的・背景

経営方針である「企業の社会的責任として法令等を遵守し、社会貢献・環境保全・女性の活躍推進等に取り組めます。」のもと、道路の清掃活動等を通じ、社会貢献及び環境保全に取り組んでいます。

#### 具体的な取組内容

令和 5 年 3 月 16 日、国土交通省松山河川国道事務所及び松山市と道路ボランティアサポートプログラムの協定書を締結し、松山市土居田町国道 56 号下り車線、伊予鉄バス停「和泉北」付近約 80m の区間について、植樹帯を含む歩道の除草、清掃及び花の植栽の美化活動に取り組みました。なお、現地には、道路ボランティアサポートプログラム実施のサインボードを設置しています。



国道 56 号植栽風景

清掃道具及び花の苗の準備期間を経て、8 月 22 日 (火)、勤務後に社員有志 44 名が参加し、植樹帯を含む歩道の除草、清掃を行い、その後「ペンタス」及び「ブルーサルビア」の苗 200 株を植樹帯に植えました。8 月の暑い時期の植栽となりましたので、植栽後は、ほぼ毎日、暑い中、水やり等を約 1 ヶ月半、勤務後に実施しました。夏場を過ぎると、水やりの頻度は減少しましたが、除草及び清掃を継続して行っています。

#### 成果

活動場所が、交差点に近接したバス停付近ということもあり、歩行者は勿論、バス利用者及び信号待ちする車両の運転手等の目にとまり、道路利用者から「花があると心が和む」との声を聞くなど、従来の繁茂する草むらにゴミくずや空のペットボトルが散乱する空間から、安らぎと潤いのある道路空間に大きく変わりました。植樹帯が交差点という位置にあったことから、従来は、信号待ちの車両から投棄されたと思われる各種のゴミが散乱していましたが、植栽後はゴミの投棄がなくなりました。

また、活動を通じて、社員間のコミュニケーションの増大にもつながっています。

#### 担当者の思い

社員個人に対する SDGs への取組みが浸透しづらい中で、比較的参加しやすい美化清掃活動に取り組んだことにより、会社としての社会貢献だけでなく、社員の SDGs 意識の向上にもつながりました。さらに、社名入りサインボードの設置により、社会貢献活動を行う会社として、広く一般に広報できたものと考えています。



(技術第二課長 松木 博志)